令和８年度第１回金ケ崎町総合教育会議
会　　議　　録

１　開会、閉会等に関する事項

（１）開会　　令和８年１０月１日（木）　午後１時３０分

（２）閉会　　同　　午後３時

（３）場所　　役場４階大会議室

２　出席者の職及び氏名（５名）

職名	氏　名
町長	高橋　文浩
教育長	千葉　和仁
教育長職務代理者	高橋　玲子
教育委員	小野　タマ子
教育委員	鈴木　雅司
教育委員	鈴木　康生

３　説明等のため出席した職員（５名）

所属・職名	氏　名
教育委員会事務局参事兼教育次長	千田　美和
中央生涯教育センター所長	及川　勝博
中央生涯教育センター所長	亀井　　淳
教育委員会事務局教育次長補佐	渡邉　久美子
教育委員会事務局教育次長補佐	松本　浩和

４　協議の概要

（１）開会

千田参事兼教育次長が開会を宣言。以降、千田参事兼教育次長が進行した。

（２）町長あいさつ

ご多忙のところご出席いただきありがとうございます。本会議は、町長と教育委員会が連携を図りながら本町の教育行政を効果的に推進するために設置しているものです。子どもたちの健やかな成長と未来を担う人材育成のためご意見を賜りたいと存じます。本日の協議事項は、町の教育大綱

を兼ねる教育振興基本計画について、町立幼稚園再編計画の推進について、教職員の働き方改革プランについての３点です。よろしくお願いします。

（３） 教育長あいさつ

本日の会議にご出席いただきありがとうございます。本来教育委員会は、町長部局とは独立していますが、町長と教育委員会が連携して教育行政を推進する目的で、本総合教育会議が開催されるものです。今回は、中長期的な内容や教育委員会として懸案事項や改善していきたい事項について説明しますので、それぞれの項目について確認いただき、今後の施策に生かしてまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。

（４）協議

高橋町長が議長となり、協議を進行した。

①金ケ崎町教育大綱（金ケ崎町教育振興基本計画）の策定について

事務局から、教育大綱の位置づけ、法的な定め（教育振興基本計画をもって大綱に変えることの検討)、計画の基本理念・期間（令和８～12 年度)、学校教育・社会教育・家庭教育支援の各施策、重点施策、今後の策定スケジュールについて説明。

町長）事務局が説明した内容で、次第資料３枚目にあるとおり、本会議において町長と教育委員会が協議・調整し教育振興基本計画を大綱に代えることと判断した場合には、別途大綱を策定する必要がないとされている。今回説明した内容をもって教育大綱に代えたいと考えている。その点について、委員の皆さんは異議ありませんか。

（異議なしの意見あり）

町長）異議なしということで、金ケ崎町教育振興基本計画は、金ケ崎町の教育大綱とすることにします。では、意見ありませんか。

高橋職務代理者）基本計画２ページの目標指標にある「自主的な活動に取り組んでいる人の割合 70.3%（現状)」は低くないので良い方向と考えるが、どのように把握した数値か。

事務局）町の第 12 次総合計画策定のための資料とするべく、企画財政課が今年３月に行った「まちづくりアンケート」の結果である。

高橋職務代理者）対象者数などは。

事務局）町内から無作為抽出した 1,000 人にアンケートを行い、441 人から回答を得た。回答率３割以上なので、町全体の傾向として妥当な数値として理解している。

鈴木雅司委員）金ケ崎は非常に教育に力を入れていると思う。先日の新聞報道では、人口減少率が２％台というのは、全市町村が人口減少している県内で金ケ崎と北上くらい。減少分は子どもの数だと思われるが、今後、子育て世代に選ばれるまちにするための具体的な教育・子育て施策が、この基本計画だけでは伝わりにくい。具体的な施策がどういうことか伝わりやすいようにしてほしい。スポーツでいうと、いつでもだれでも…という記載はあるが、これだけだとわかりにくい。

町長）全体のまちづくりの計画については、町の総合計画を策定中で、子育て支援についても記載はしているがすべて記載しているわけではない。基本的な内容になっている。具体的には事務局から説明する。

事務局）スポーツについては計画書 27、28 ページに記載しているとおり環境管理やスポーツに親しむ、競技スポーツの支援などを柱にして取り組むことにしている。

鈴木雅司委員）これまでは、森山総合公園のスポーツ施設を利用していたが、今は 24 時間営業のジムに行っている。使う人のことを考え、利用料金の見直しなど、サービス面を改善しないと施設の有効活用ができないのではないか。生涯教育の面では、子育て支援も大事だと思うが使いやすい施設利用料も検討するべき。

町長）24 時間営業は課題があると思うが、森山スポーツセンターの運営は指定管理の中で努力していただいているところ。町民に使ってもらえるように町とスポーツ事業団、教育委員会と協議していくべきと考える。

高橋職務代理者）マラソン大会の制限時間を延ばすなど、高齢になると制限時間が苦しくなる。住民が長く楽しめるような工夫もあってよいのではないか。

事務局）実行委員会に伝えたい。

町長）道路規制の関係もあり、通行止めにする時間の延長は簡単ではなさそう

だが確認をすることは必要と考えている。

鈴木康生委員）基本計画の目標指標にある小学校５年生の意欲をもって学ぼうとする児童生徒の割合（現状 79%→目標 84%）について、何を基準にして目標設定しているのか。

事務局）県が行っている調査項目を使っている。現状が 79%であり、すでに高い水準にあるが、そこから５ポイント程度引き上げて維持していきたいという考えで設定している。

小野タマ子委員）学校教育や家庭・地域の教育について、家庭支援の充実が柱にあるが、具体的に聞きたい。相談したいが実際には悩みを表に出せない保護者に対してどのようにアプローチしていくのか。

事務局）家庭教育支援相談員や児童生徒指導員、適応支援相談員などさまざまな職の会計年度任用職員を配置し対応している。ホームページ等で相談窓口を分かりやすくすることや、子育て支援課や保健福祉センター等の複数窓口が連携して「困っている方を漏らさない」体制づくりを進めている。また、社会教育の場でも交流の機会を設けて支援したいと考えている。

鈴木雅司委員）前職で学校現場にいたときは、民生委員が頼りになっていた。金ケ崎町でもそのような連携を図っているのではないか。

町長）今年から開始した５歳児健診等を通じて、発達上の懸念があっても自覚や相談の認識がないケースなど、新たな課題を発見できているため、しっかりと対応していかなければならないと考えている。

小野タマ子委員）周りからみて子の発達が気になることを保護者に伝えることは難しいと思う。保護者が「うちの子は普通だ」といって、外部の意見を認めない場合の言葉がけは非常に難しいため、支援する側としても学ぶ必要があると思う。

②金ケ崎町立幼稚園再編計画の推進について

事務局から、幼稚園再編計画の経緯、適正な人数規模・学級編成基準、六原幼稚園における異年齢学級の状況、保護者や地域からの意見を踏まえた推進案の変更（「令和９年度末閉園」から、現３歳児が卒園する「令和 10 年度末の閉園」への変更、園児募集の継続、南方幼稚園への統合やバス運行、転

園時の支援等）について説明した。

鈴木雅司委員）閉園が１年間延びたことについて、住民感情に配慮した対応だとは思うが、保護者や地域からの朝の預かり保育や特別支援への配慮、地域に必要な幼稚園などという意見に対して、1年延びたことによって、このように対応すると回答していかなければ、１年延ばした意味がない。奥州市では以前６つの公立幼稚園を一度に閉園した。統廃合は金ケ崎に限ったことではないということも理解していただくために、他地域の状況も説明するなどしてもよいと思う。

小野タマ子委員）六原幼稚園の運動会に参加した際、少人数で競争ができないなど、子ども同士の切磋琢磨や集団としての育ちの観点で足りない部分が見えた。幼稚園教育では、個々の頑張りや成長を確認する場だけでなく、やはり競争するような経験も必要だと感じた。

鈴木康生委員）幼稚園が子どもの転園に関する配慮を行っていることは知っているが、保護者が新しい園の人間関係や保護者の輪にスムーズに馴染めるように「保護者への支援」も必要だと思う。

高橋職務代理者）子どもの施設が駅周辺に集中しており、北部地区に幼稚園がなくなるのは寂しいが、出生数の減少から見て仕方がない部分もある。南方幼稚園ではすでに、支援を要する子どもへの対応もしっかりしていると思うが、今後もしっかり対応していただければと思う。

教育長）以前幼稚園関係者から、子どもは新しい環境に馴染みやすいということはお伺いしたことがある。保護者へのケアということで、南方幼稚園の保護者との交流や事前の情報交換など、顔見知りになる手立てがあるといいと思った。保護者への対応には、転園までの時間はあるので幼稚園と教育委員会と進めたい。

町長）再編については、教育委員会が保護者や地域に説明しながらさまざま議論して最終的に閉園について理解をいただいたところ。閉園後の六原幼稚園を地域でどう生かしていくか、今後当局としても検討し説明していく必要があると思っている。１回目の地域説明会に参加した方から、町長が六原幼稚園を何か別の用途に決めているかのような発言があったと記録を読んだが、

それは事実無根であり、今の施設を取り壊さずに生かすことが重要と考えている。また、今後の小学校の再編についても同様に議論を重ねる必要がある。

鈴木雅司委員）閉園後の施設の利活用は大事だと思う。施設が朽ち果てる前に、有効活用に向けて閉園時を待たずに早めに検討を進めてよいと考える。例えば奥州市では、岩谷堂幼稚園は福祉フロンティアという不登校対策の施設として活用されているし、若柳幼稚園は民間企業に貸し出している。

③小中学校教職員働き方改革プランの改定と状況報告について

事務局から、法改正による業務量管理・健康確保措置実施計画の策定義務化に伴うプラン改定の経緯、ホームページでの公表、負担軽減や健康確保の取組状況、時間外勤務時間の目標達成状況（月 45 時間超え・80 時間超えともに前年度から増加し目標未達）について説明した。

鈴木雅司委員）校務支援システムによる勤務時間の把握と記載があるが、タイムカードではないが、勤務時間の把握はどのような形で行われているか。

事務局）教職員が一人ずつ出勤・退勤をパソコンに登録する仕組みになっている。

鈴木雅司委員）結局個人の申告によるところであることは問題と感じる。中学校の部活動指導による長時間勤務の課題があるが、部活のルールは平日２時間、休日３時間でどちらも１日休むとなっていたはず。その通りであれば、長時間にはならない。結局ルールを破っていることになる。それで県大会で勝つことが正義ではないと思う。教職員の意識改革や現場自らが手本を示すことが必要である。

町長）部活動の地域展開は地域指導者の確保ができないなど問題はあるようだが、働き方改革をしっかり行い「教員が過酷な働き方をしない環境であること」を示していかないと、教員のなり手不足・応募状況からも選ばれなくなってしまうため、改善を進めなければならないと感じる。

高橋職務代理者）働き方改革プラン資料のアンケート結果に、一斉に帰る時間などにパソコンを立ち上げると通信速度の遅延が課題として書かれているが

具体的な改善策はあるのか。

事務局）GIGA スクール構想による端末利用で通信がストップする原因となるアクセスポイントの問題に対し、今年度すでにスムーズにするためのソフトを一時的に導入しており、改善効果を期待している。結果を見てさらに必要であれば対策を講じる。

他に意見等なく、町長は議長を退任し、その後、千田参事兼教育次長が会議を進行し閉会した。